

令和5年度

美浦村社会福祉協議会事業計画書

(自) 令和5年 4月 1日

(至) 令和6年 3月31日

社会福祉法人 美浦村社会福祉協議会

I 基本方針

社会福祉協議会には、地域福祉推進の中核的役割を果たすのみならず、サービスの創意工夫と他の事業主体で対応が困難な福祉ニーズに対しても果敢に挑戦することが求められています。

一方、世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症は、令和5年2月に国の基本的対処方針が一部変更され、マスク着用の考え方の見直しが示されるなど、感染拡大を防止しながら、日常生活や経済社会活動を継続できるよう行動制限の緩和の取組を進めていくという方針が決定されました。

このような中、村と当会が連携して5年ごとに策定している「美浦村地域福祉計画・美浦村社会福祉協議会地域福祉活動計画」の第2次計画が令和4年度をもって終了となり、今年度から新たな計画期間が始まります。新計画の基本理念である「地域住民の支えあいでの生きがいをもって暮らせるまちづくり」の実現に向けて、住民相互の支えあい・助け合い・ふれあいによって互いのつながりや結びつきを深めていくような活動の再開・継続を推進してまいります。

II 重点推進事項

1. 社会福祉協議会活動の住民への認知及び理解・浸透を図るため、スマートフォンやパソコンなどの閲覧媒体を問わず誰もが見やすいホームページの構築を進める
2. 生活に困窮している世帯の経済的自立を支援するため、緊急的な食糧支援事業を継続するとともに、相談支援体制を強化する
3. 子どもの健全な育成に資するため、ひとり親世帯等の生活に困難を抱える子育て世帯への支援を継続するとともに、他の子育て支援団体との連携を強化する
4. 高齢者の憩いの場づくり、社会的孤立感の解消及び健康維持増進ため、通所介護事業におけるミニデイサービスの開催日数を増加し、利用者の受け入れ態勢を整備する
5. 障がいの有無に関わらず地域社会でともに暮らす基盤をつくるため、就労継続支援事業における施設外就労等の機会の維持・拡充を図る
6. 「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」のため、地域住民同士の交流や話し合いの場づくりを推進し、住民主体による地域課題への取り組みを支援する

令和5年度 美浦村社会福祉協議会 事業計画

1. 地域福祉の推進

(1) 地域福祉活動の推進

ア 地域見守り活動の推進

【目的】

誰もが住み慣れた地域で安心・安全に生活できるよう、「みほ見守り隊」を結成し、下校児童の見守りやひとり暮らしの高齢者への声掛け・安否確認を行います。日常生活における防犯、社会的孤立の防止に向けたシステムを推進します。

【内容】

- ① 下校児童の見守りの実施
- ② ひとり暮らし高齢者宅訪問による、孤立防止・安否確認の実施
- ③ その他防犯、社会的孤立防止活動に関すること

【予算額】710千円

【財源内訳】社協会費:430千円 村補助金:280千円

【効果】

1. 下校時に通学路に立つことで、犯罪抑止力の効果に加え、互いに声を掛け合うことによる児童たちの心の成長や、地域の活性化などをはかります。
2. ひとり暮らし高齢者宅を訪問し、交流を行うことで、社会的孤立の防止や、地域の活性化などをはかります。

イ ボランティアセンターの運営／みほちゃん広場の開催

【目的】

ボランティア活動及び村民活動の推進による、地域福祉向上の充実をはかるために、ボランティアセンター内に「ボランティアコーディネーター」を配置する体制を継続します。また、ボランティア関係者・有識者からなる運営委員会を設置して、村のボランティア活動の方針等について協議することで、開かれた・公平な運営に努めます。また、村内の小学生を対象に、ボランティアが学習・生活支援を行う「みほちゃん広場」を新しい生活様式に対応した形で開催いたします。

【内容】

- ① ボランティア活動・村民活動を行う者の登録・台帳整備
- ② ボランティア活動・村民活動に関する啓発・普及・広報
- ③ ボランティア活動・村民活動に関する援助・指導
- ④ ボランティア活動・村民活動に関する調査・研究
- ⑤ ボランティア活動・村民活動に関する情報資料の収集・提供
- ⑥ ボランティア活動・村民活動に関する連絡調整

<ul style="list-style-type: none"> ⑦ ボランティア活動保険の加入に関すること ⑧ 子ども応援プロジェクト事業「みほちゃん広場」の開催 ⑨ 子育て世帯応援事業「みほちゃん食堂」の運営 ⑩ その他、ボランティア活動・村民活動の推進、支援に関すること
【予算額】ボラセン運営 605 千円 みほちゃん広場 390千円
【財源内訳】社協会費:905 千円 参加費:90千円
【効果】 <ol style="list-style-type: none"> 1. ボランティアの需給調整やボランティアに関する相談、ボランティア団体に対する支援等を行うことで、ボランティア活動の充実と継続の促進をはかります。 2. ボランティア講座等を開催することで、新たなボランティア活動の啓発並びにボランティア活動者の育成を推進します。 3. ボランティア活動を通して、住民の目から見た地域の福祉・生活課題を発見することができます。 4. 「みほちゃん広場」の開催により、小学生及びボランティアの健全な育成を推進します。 5. 「みほちゃん食堂」を運営することで、生活に困窮した子育て世帯の経済的自立を支援します。

ウ 災害ボランティアセンター運営訓練(県社協共催)

【目的】 災害発生時における初動体制の確認と職員及びボランティアの災害対応能力、意識の向上を図ることを目的に、災害ボランティアセンター運営訓練を実施する。
【内容】 <ol style="list-style-type: none"> ① 災害ボランティアセンター運営に関する講義 ② 災害発生時における初動体制のシミュレーション ③ 災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルに基づく訓練
【予算額】 55 千円
【財源内訳】 社協会費:55 千円
【効果】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 実践的な訓練を行うことで災害発生時に迅速かつ的確な支援活動に繋がります。 2. 職員及びボランティアの災害対応能力、意識の向上を図ります。

エ 高齢者福祉関係事業

【目的】 多年にわたり社会の為に尽くしてきた高齢者を敬い、長寿をお祝いします。
【内容】 <ol style="list-style-type: none"> ① 敬老会の開催(村との共催) ② 長寿御祝い(金婚、喜寿)
【予算額】 733 千円

【財源内訳】 共同募金配分金:733 千円
【効果】 1. 行事を通して地域の敬老意識を高め、地域福祉の発展につながります。 2. 行事に出席することで生きがいや社会参加の意欲促進に繋がります。

オ 生活支援体制整備事業

【目的】 介護予防・日常生活支援総合事業のサービス体制整備及び円滑な実施に向けて、多様な主体間の情報の共有、地域課題や地域ニーズの把握及び協働による資源開発等を推進するため、定期的な情報の共有及び連携の強化の場として、協議体を設置します。また、「生活支援コーディネーター」を配置し、地域資源の開発や関係者間のネットワーク構築、ニーズと取り組みのマッチングを行います。
【内容】 ① 地域における助け合い・支え合いの活動支援体制整備 ② 協議体設置による関係機関の情報共有・連携強化
【予算額】100千円 【財源内訳】村補助金:100千円 ※ともに事業費部分
【効果】 1. ボランティアなど地域の多様な主体を活用し、高齢者の支援をはかります。 2. 地域の互助を高め、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりをはかります。

カ 地域活動拠点作りの推進

【目的】 地域住民グループ等が主体となって設置する、ふれあい・いきいきサロン及び、子育てサロンの育成、振興を目的として助成を行います。また、村内にeスポーツを通じた住民の交流の場を設けることを目的としたサロンを開設します。
【内容】 ① 活動団体に対する情報・相談・助言の提供および活動費の助成 ② 村内にeスポーツサロンを開設
【予算額】 206 千円 【財源内訳】 社協会費:156 千円 共同募金配分金:50千円
【効果】 1. 地域交流を促進することで、高齢者等の引きこもり予防や不安・孤立化の解消をはかることができます。 2. 地域住民が主体的にサロン活動をおこなうことにより、身近な地域課題に対する理解や福祉に対する関心を深め地域福祉力の向上をはかることができます。 3. e スポーツを高齢者を中心に地域に浸透させることで、高齢者の健康寿命の増進・認知症予防・生きがい作り・子や孫世代との交流・デジタル化推進等をはかることができます。

キ 社会参加推進事業

【目的】 イベントを通じて、住民同士の活動・交流の輪を広げ、地域でいきいきと過ごせることを目的としています。高齢者の閉じこもり防止効果も期待されます。
【内容】 ① 映画上映会の開催 ② 買い物ツアーの開催
【予算額】 308 千円 【財源内訳】 共同募金配分金:308 千円
【効果】 1. 普段、映画館に行く機会が少ない方に対して、みんなで一緒に映画を見る機会を提供することで、映画の素晴らしさや、その感動を毎日の暮らしの中に生かして、いきいきとした日常を過ごすことができます。 2. 高齢により免許返納をした方や、障害等の理由により車での移動が困難な方に対して、村の福祉バスを活用した、買い物ツアーを開催し、普段行けない場所へ行って買い物することで、より充実した生活が送れるようになります。

ク 世代間交流事業

【目的】 核家族化で世代間の接点が少なくなっている高齢者と子どもが、配食サービスお弁当の掛け紙を通して交流を図ることを目的とします。
【内容】 ① 世代間メッセージ事業 ※一人暮らし高齢者配食サービスお弁当に保育所児作成の掛け紙(絵やメッセージなど)を添えて届ける。
【予算額】 15 千円 【財源内訳】 共同募金配分金:15 千円
【効果】 1. 子どもたちが高齢者に向けてお弁当の掛け紙を作成することで、優しさや思いやりの心が育まれます。 2. 子どもたちのまごころが込められた掛け紙に触れることで、高齢者が元気で明るい気持ちになり、日常生活の意欲・向上に繋がります。

ケ 共同募金歳末たすけあい事業

【目的】 共同募金運動の一環として地域住民や民生委員児童委員、関係機関・団体の協力のもと、新たな年を迎える時期に、だれもが地域で安心して暮らすことができるよう、地域のたすけあいやささえあいの活動を広げ、だれもが住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくりの推進、住民相互のたすけあい運動を推進することを目的として実施します。

<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 歳末地域活動助成事業 ② 「猫の手貸します」シルバー人材センター利用券贈呈事業 ③ 「サンタが美浦にやってくる」クリスマスプレゼント贈呈事業
<p>【予算額】428 千円 【財源内訳】共同募金配分金:428 千円</p>
<p>【効果】</p> <p>1. 新たな年を迎える時期に、村民から寄せられた「たすけあいの募金」を財源に、低所得世帯、障害者、ひとり暮らし高齢者、母子父子家庭、福祉団体・ボランティア団体等への支援を行い、より一層の地域福祉増進をはかります。</p>

コ 福祉教育・啓発活動事業

<p>【目的】</p> <p>村内の小学校・中学校・特別支援学校等との連携を基盤として、福祉への理解と関心を深め、思いやりの心を育てるため、児童・生徒が身近にボランティア活動や福祉活動に取り組める福祉教育の推進に努めます。</p>
<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 小学校区における福祉教育・体験等の推進 ② 福祉ボランティア教育の推進を行う学校への助成 ③ 小学校・特別支援学校小学部入学児童へ福祉教育下敷きの贈呈
<p>【予算額】580 千円 【財源内訳】 社協会費:580 千円</p>
<p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 車いす教室や高齢者疑似体験活動等の福祉教育を推進することで、幼い頃から福祉について関心を持ち、他者を思いやる、優しい心を育成します。 2. 教育機関が実施する福祉教育等の支援、及び社協主催の小中学生ボランティア育成事業の開催により、児童生徒がボランティアや福祉活動への理解と関心を深めることができます。 3. 福祉マークの記載された下敷きを配布することで、福祉マークの内容とその意味を学習することにより、低学年から福祉の心を養うことができます。

サ 子ども・母子父子家庭支援事業

<p>【目的】</p> <p>3人以上の子どもを育てている家庭に対し、支援金を支給します。 ひとり親家庭の児童・生徒、交通事故によって親等を失った交通遺児に入学祝い金を贈呈して、経済的側面から支援します。 おもちゃ図書館を開設し、障害の有無にかかわらず、おもちゃを通して遊び育つ場を提供します。</p>
--

<p>【内容】</p> <p>① いきいき子育て支援金の支給 1～2歳児 年2万円 3歳児 年1万円</p> <p>② 母子父子家庭入学祝金の贈呈 小学校(部)1万円 中学校(部)1万5千円</p> <p>③ 交通遺児入学祝金の贈呈 小学校(部)2万円 中学校(部)3万円 高等学校(部) 5万円</p> <p>④ おもちゃ図書館の運営</p>
<p>【予算額】799千円 【財源内訳】 社協会費:34千円 善意銀行:765千円</p>
<p>【効果】</p> <p>1. 第3子以降の子にかかる費用を補助することにより、次代を担う児童の確保、子どもを安心して生み育てることのできる環境づくりを行います。</p> <p>2. 入学祝金を贈呈された児童生徒が健やかにたくましく成長し、勉学に励むことで、児童・青少年福祉の充実をはかります。</p> <p>3. 障害のあるなしにかかわらず、共に遊び交流し育ちあう「おもちゃ図書館」という場を提供することによって、一人ひとりの違いを認め合うことのできる地域作りを行います。</p>

シ 被災世帯見舞金支給事業

<p>【目的】</p> <p>暴風、豪雨、地震等の自然災害や、火災等の被害による被災者又はその遺族に対し、見舞金又は弔慰金を贈呈します。</p>
<p>【内容】</p> <p>① 居宅等が全壊、全焼又は流失 :1世帯につき 30,000円</p> <p>② 居宅等が半壊、半焼又は床上浸水:1世帯につき 10,000円</p> <p>③ 死亡したとき :1人につき 20,000円</p>
<p>【予算額】 60千円 【財源内訳】 善意銀行: 60千円</p>
<p>【効果】</p> <p>1. 被災者の支援を行うことで、地域福祉の向上をはかります。</p>

ス 福祉団体活動助成金交付支援事業

<p>【目的】</p> <p>福祉関係団体及びボランティア団体の会員組織体制の強化と地域福祉活動の促進を図ることを目的に活動費用の助成を行う。</p>
<p>【内容】</p> <p>① 福祉関係団体及びボランティア団体に対する活動費用の助成 ※団体の種類・規模によって 2万～15万円</p>
<p>【予算額】 334千円 【財源内訳】 社協会費:334千円</p>
<p>【効果】</p> <p>1. 団体への活動費用の助成により、活動内容の充実および活性化につながり、地域における福祉活動の推進が図られます。</p>

セ 広報・啓発活動

【目的】 福祉関係の情報提供や社会福祉協議会事業の取組等を周知することで、村民の福祉意識の高揚と社協活動に対する理解・協力を得ることを目的として、広報誌やインターネットを活用した情報発信及び社協カレンダーの配布を行います。また、当会イメージキャラクターである「みほちゃん」の着ぐるみ等を活用し、当会活動の積極的なPRをはかります。
【内容】 ① 広報誌 年4回発行(5月・8月・10月・1月号) ※発行部数:4,800部 村内全行政区配布 県内関係機関配布 ② ホームページの運営(アドレス http://www.mihoshakyo.jp/)及びSNS(フェイスブック・ツイッター)の活用 ③ 社協カレンダーの配布 ④ イメージキャラクター「みほちゃん」の積極的な活用
【予算額】 774千円 【財源内訳】 共同募金配分金 :774千円
【効果】 1. 福祉関係の情報等を提供することにより、村民の福祉意識を高めます。 2. 社協活動やボランティア活動の周知を行うことにより、社協事業に対する理解と協力が得られます。 3. 賛助会員、ボランティア・区長・民生委員児童委員等の支援者及びサービス利用者等との連絡体制の強化につながります。 4. イメージキャラクターを浸透させることにより、社協の認知度・注目度を上げることで、社協事業に対する理解と協力を得ることをはかります。

ソ 当事者組織の運営支援

【目的】 地域福祉団体の事務局として団体の円滑な運営に協力することで、地域福祉の向上をはかります。
【内容】 ① 村老人クラブ連合会 ② 村母子寡婦福祉会 ③ 村遺族会
【予算額】 なし 【財源内訳】 なし
【効果】 1. 団体の円滑な運営に協力することで、住民自身による福祉活動の更なる推進をはかります。

(2) 福祉サービスの利用支援

ア 日常生活自立支援事業(県社協受託事業)

【目的】 認知症高齢者や知的または精神障害のある方等、日常生活において支援が必要な方に対し、福祉サービスの利用手続きの支援をはじめ、日常的な金銭管理、書類等の保管などを行います。福祉サービス・行政サービス等を適切に利用できるよう援助し、地域で安心して生活を送れるように支援します。
【内容】 ① 福祉サービスの利用援助 ② 日常的な金銭管理 ③ 書類等の預かりサービス
【予算額】 2,146 千円 【財源内訳】 県社協受託金:2,060 千円 利用料:86 千円
【効果】 1. 判断能力が不十分なため日常生活が困難な方の不安を取り除くことで、地域で安定した生活を送れるよう支援します。

イ 低所得者支援事業(資金の貸付・フードバンクによる食材提供)

【目的】 低所得世帯、高齢者世帯、障害者世帯等に対して、資金貸付を行います。フードバンク茨城と提携し、提供された食材を生活困窮者に無償で譲渡します。それにより経済的自立および生活意欲の助長・促進ならびに在宅福祉や社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援します。
【内容】 ① 生活福祉資金貸付制度の事務処理(受付窓口)※茨城県社協が実施する制度 ② 小口資金の貸付 貸付金の限度額 10,000円以内 返済の見込等の条件あり ③ フードバンク茨城・きずなBOX・(株)カスミ・ヨークベニマル美浦店より提供された食材の無償譲渡
【予算額】 5,533 千円 【財源内訳】 県社協助成金 : 5,033 千円 貸付事業償還金:100 千円 その他の助成金 : 390千円 社協会費:10 千円
【効果】 1. 貸付や食材提供等を実施することにより、当該世帯が経済的自立や社会参加の促進等をはかることで、安定した生活を送れるよう支援します。

ウ 地域総合相談(心配ごと相談・法律相談)

【目的】 広く村民の日常生活上の悩みや心配ごとに対応する相談窓口を設置し、適切な情報の提供に努めます。また、多様化する相談に対し、相談員の資質向上に努めるとともに、行政機関など関係機関との連携を図り、村民にとって信頼感と親しみある相談窓口の運営に努めます。
【内容】 ① 心配ごと相談の開設(月2回) 予約制 無料 ② 法律相談の開設(月1回) 予約制 無料 ※条件:村民である、又は村内通勤・通学している
【予算額】 411千円 【財源内訳】 社協会費:411千円
【効果】 1. 住民の抱える悩みや心配ごとを解消することで、精神的に安定した生活を送ることが出来ます。

エ 成年後見制度利用促進事業(受託事業)

【目的】 高齢者や障害者の判断能力低下に伴う生活状況の変化に応じて、成年後見制度などの権利擁護によりその人らしい安心した生活が送れるよう支援します。
【内容】 ① 地域連携ネットワークとしての中核機関を整備し、成年後見制度や権利擁護の広報啓発活動、相談業務、成年後見制度利用促進、後見人支援などを行います。
【予算額】 10千円 【財源内訳】 社協会費:10千円
【効果】 1. 成年後見制度の利用を必要としている人を早期に発見し、速やかな支援を行うことで、本人の生活の質の向上を図ります。 2. 本人や親族等からの相談に、保健・福祉・医療および法律の専門職などと連携をとり、制度を利用し易くするとともに、親族後見人の孤立や不安などを解消し、安心して本人に寄り添えるよう支援します。

(3) 在宅福祉サービスの利用支援

ア 配食サービス事業

【目的】 ひとり暮らし高齢者の食生活の改善と健康増進・安否確認を目的に、ボランティア・民生委員等の協力を得て、手作りのお弁当を月2回お届けしています。
【内容】 ① 配食サービスの実施 ※対象者=おおむね70歳以上で、見守りが必要なひとり暮らし高齢者

【予算額】 1,277 千円
【財源内訳】 共同募金配分金:847 千円 善意銀行:430千円
【効果】
1. 手作りのお弁当を配達することで、ひとり暮らし高齢者の食生活の改善と健康増進および安否確認をすることができます。

イ 外出支援事業

【目的】
在宅で生活する高齢者や障害者等で福祉用具を必要とする方に対し、車イスを貸し出し、生活を支援します。また外出支援として、福祉車両(車椅子用スロープ付車両)を貸出します。
【内容】
① 福祉機器(車イス)の貸与(無料)※介護認定を受けていないこと 最長1ヶ月 ② 福祉車両の貸与(有料)※介護認定の有無は不問 1日500円+走行距離(km)×14円
【予算額】 69千円 【財源内訳】 利用料:59千円 社協会費:10千円
【効果】
1. 福祉機器の貸出により、利用者の行動範囲が広がることで、利用世帯の生活の質の向上および社会参加の促進をはかることができます。

2. 在宅介護事業・障害福祉事業

(1) 指定居宅介護支援事業所の運営

ア 居宅介護支援事業(介護保険事業)

【内容】
介護保険制度による介護サービスを受けるとき必要となる、介護サービス計画(ケアプラン)の作成、相談、申請代行、サービス調整等を行います。医療・保健・福祉サービスを総合的・効果的に利用できるよう提案し、在宅で質の高い生活が営めるよう支援します。
【収入予算額】16,385 千円
【内 訳】村補助金:3,383 千円 居宅介護支援介護料:12,000 千円 介護予防支援介護料:1,000 千円 その他:2千円

(2) 指定通所介護事業所の運営

ア 通所介護事業(介護保険事業)

【内容】
美浦村デイサービスセンターで、食事や入浴、排泄の介助、個別機能訓練、レクリエーションなどの各種サービスを提供し、利用者の心身機能の向上をはかります。また、日中にお預かり

することで、家族の身体的・精神的な負担軽減をはかります。

【収入予算額】64,999 千円

【内 訳】村補助金:9,371 千円 居宅介護料:45,926 千円
介護予防・日常生活総合事業:4,445 千円
利用者等利用料:5,157 千円 その他:100 千円

イ 美浦村介護予防・日常生活支援総合事業「通所型サービスA」

【半日型 ミニデイサービス】(村受託事業)

【内 容】

村内在住の要支援者及び第1号事業対象者の方を対象とし、個別の計画に基づき、その有する能力に応じ、可能な限り居宅において自立した生活が営むことができるよう、生活の質の確保及び向上を図るとともに、安心して日常生活を過ごすことができるよう支援します。社会福祉協議会の専門職による運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上等のプログラムを実施し、目標達成をはかります。

【収入予算額】2,591 千円

【内 訳】受託事業収入:2,361 千円 利用者等利用料:230 千円

ウ 地域生活支援(日中一時支援)(村受託事業)

【内 容】

デイサービスセンターで障害者等の日中における活動の場を確保することで、その家族の就労支援若しくは一時的な休息を目的に支援します。

【収入予算額】970 千円 【内 訳】受託事業:900千円 利用者負担金:70 千円

(3) 指定訪問介護事業所(居宅介護事業所)の運営

ア 訪問介護事業(介護保険事業)

【内 容】

介護の必要のある方へ、訪問介護員(ホームヘルパー)が訪問し、自立した日常生活が送れるようサポートします。食事介助・入浴介助・排泄介助等の身体介護や、炊事や洗濯、掃除などの生活援助を一人ひとりの身体の状態に応じ提供し、自立支援に取り組みます。

【収入予算額】9,073 千円

【内 訳】村補助金:5,511 千円 居宅介護料:2,223 千円
介護予防・日常生活総合事業:1,335 千円 その他:4 千円

イ 居宅介護・重度訪問介護事業(障害者総合支援法事業)

【内 容】

介護の必要な障害のある方へ、訪問介護員(ホームヘルパー)が訪問し、自立した日常生活が送れるようサポートします。食事介助・入浴介助・排泄介助等の身体介護や、炊事や洗濯、掃除などの生活援助を一人ひとりの身体の状態に応じ提供し、自立支援に取り組みます。

【収入予算額】1,001 千円 【内 訳】障害福祉サービス等事業:1,001 千円

(4) 美浦村自立支援センター「ホープ」の運営

ア 就労継続支援B型事業(障害者総合支援法)

【内容】

通常の事業所に雇用されることが困難である方に対して、就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練・支援を行います。また、施設外就労を行い、障害を持つ方の就労や地域の方との繋がりが推進されるよう支援を行います。

【収入予算額】31,068 千円

【内 訳】自立支援給付費:28,636 千円 授産事業:2,268千円
その他 : 164 千円

イ 相談支援事業(障害者総合支援法)

【内容】

障害福祉サービスを利用するために必要となるサービス計画書を作成し、連絡調整、相談、モニタリング等を実施。関係機関と連携を取り、安心して住み慣れた地域で生活できるよう支援しています。計画相談支援(18歳以上)と障害児相談支援(18歳未満)を実施。

【収入予算額】8,995 千円

【内 訳】村補助金:7,203 千円 障害福祉サービス事業:1,790 千円 その他:2 千円

3. 指定管理事業

(1) 老人福祉センターの管理受託

村老人福祉センター(木原150-2)の管理運営業務を受託し、センターの持つさまざまな機能を活用し、地域住民の福祉活動の拠点となるように努めます。

(2) 自立支援センターの管理受託

村自立支援センター(木原150-2)の管理運営業務を受託し、事業の推進と施設機能の有効な活用に努めます。

(3) デイサービスセンターの管理受託

村デイサービスセンター(受領1546-1)の管理運営業務を受託し、事業の推進と施設機能の有効な活用に努めます。

社会福祉協議会の法人所在地は、当該施設となっています。

4. 会務運営

(1) 理事会の開催（年2回以上開催）

社会福祉協議会の意思決定機関である理事会運営が、円滑に行われるよう、適切な会議の運営に努めます。

(2) 評議員会の開催（年2回以上開催）

社会福祉協議会の議決機関であり、事後的に法人運営を監督する役割を果たす評議員会運営が円滑に行われるよう、適切な会議の開催に努めます。

(3) 監事会の開催（年1回以上開催）

透明な会計業務に徹し、公平な監事会運営を行います。

(4) 評議員選任解任委員会の開催（随時開催）

評議員の選任解任が円滑に行われるよう、適切な会議の開催に努めます。

5. その他の事業

(1) 共同募金運動への協力

社会福祉法人茨城県共同募金会が実施する「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい募金」等の各種募金運動に協力します。